

## (21) 諏訪神社 (すわじんじゃ)

住 所： 三重県伊賀市丸柱1545

TEL : 0595-44-1200

参拝日：2013年12月11日、2014年6月15日

主祭神：建御名方命

祭 神：大日靈貴命、天兒屋根命、建速須佐之男命、大山祇神、速玉之男命、  
宇迦之御魂神、應神天皇、火之迦具土神、市杵島比賣神



鳥居と狛犬



手水舎



鳥居と拝殿

石段の両側に大きな石灯籠があり、石段を上ると“諏訪神社”の額束を掲げた木の明神造りの鳥居がある。鳥居をくぐると阿吽の狛犬が迎えてくれる。参道にはヒノキやスギなどの大木とたくさんの石灯籠が並んでいる。しばらく歩くと左側に手水舎がある。石段を上り、明神造りの石の鳥居をくぐると、正面に入母屋平入り造りの拝殿がみえる。本殿は大宮造で青みがかった流線型の屋根が美しい。本殿への階段の両脇には陶器の阿吽の狛犬が、左側には小さな社が配してある。境内には津嶋牛頭天皇の社があり、その前には小さめの石の鳥居と注連縄を張った力石が設置されている。その他、神明神社（大日言貴命）と春日神社（天兒屋根命）や神楽殿、神饌所がある。社叢にはヒノキ、スギ、カヤ、サカキ、シュロ、ケヤキ、カナメモチ、イヌツゲ、マンリョウ、オオツクバネガシ、ソヨゴ、モチノキ、例祭は10月10日で、特殊神事・宗旨祭は毎年12月1日午後2時本殿で宗旨祭典が、続いて隣接の参籠舎で宗旨祭礼が全氏子の長男参加、太鼓を合図に当家が準備した膳（焼き魚、豆、昆布巻きなど）で神酒を酌み交わす神事が行われる。

由 緒：

元亀年間の創建と伝える。勧請の年月日は明らかではないが、比曾河内諏訪神社の分霊を奉斎するものといい、あるいは、往古中庵寺なるものかおり、これが鎮守神なりとの説もある。明治四〇年同大字内の熊野神社など六社を合祀した。

（三重県神社誌 三重県神社庁）



本殿と狛犬



津嶋神社